□　知識創造型図書館への改革

■　知識創造型図書館とは・・・「いつでも・どこでも・だれもが、課題解決に必要な情報にアクセス可能な、創造都市の知識・情報基盤」

使命・目的（ミッション）

◇ひとづくり
◇まちづくり

◎人類の知的財産である資料や情報を広く収集・保存して後世に伝える。

◎資料・情報を利用しやすいよう組織化して、市民の公平な情報へのアクセスと活用を支援し、地域社会の活性化に資する。

◎資料・情報の提供及び読書の普及に努めることで、市民の創造性を高めるとともに、明日を担う子どもたちの想像力と感性を豊かにする。

現　状

従来型図書館

来館者への貸出中心（趣味や教養目的）

来館困難者（子ども・高齢者・勤労成人）

１５年改革

調査相談・館外サービス体制整備

（目的＝従来型図書館からの脱皮）

戦略目標（知識創造型図書館への改革）

今後の施策課題

◇知識を創造する図書館へ
－「創造都市大阪」の実現－

◆　知識基盤社会における創造性の発揮を支援（創造的な人材育成）

●高度なレファレンス（調査相談）・情報サービス・情報発信機能
（地域・生活課題の解決支援、ビジネス支援、調査研究支援）

●全市民（来館困難者）への図書館サービス［アクセス機会均等］
（開館日拡大、館外サービス拡充）

図書館を地域の総合的な知識情報活用基盤としてその利用条件を整備する地域の情報拠点化施策の推進（市民サービスの拡大・高度化）

○レファレンス機能・情報サービスを高度化
　・新聞記事や判例等各種商用データベースの提供
　・メールでのレファレンスの受付開始
　・レファレンス事例のデータベース公開
　・ビジネス支援情報（コミュニティビジネス、ＮＰＯ）
　・法律・医療情報の提供
　⇒情報拠点化

○行政施策の企画立案支援サービスの強化（庁内向けレファレンス拡充）
　・市会図書室との連携

○開館日の拡大
　・祝日開館等

◇人と、心を育てる図書館へ
「大阪市子ども読書活動推進計画」

◆　未来を担う子どもの心を育て、豊かな感性と創造力を育む

●地域・学校との連携による子どもの読書活動の推進
（「読解力」＝学力・創造力の基礎）

●読書環境の整備（子育て支援）

●市民ボランティアとの協働

図書館を各区の子どもの読書相談支援センターとして、子どもの読書推進施策の企画、学校、地域、市民との連携事業の企画調整等を行なう

○大阪市子ども読書活動推進連絡会の設置
　・子ども読書活動推進連絡会（全区）

○司書教諭の研修会や学校図書主任との連絡会の開催

○学校との連携・支援事業の拡大（資料・情報提供、活用支援）
　・団体貸出や調べ学習支援

○幼児期読書環境整備事業対象施設拡大

○市民ボランティアの養成拡大

●効率的な運営体制の確立　⇨　職員数の削減　⇔　業務の民間委託拡大